

平成 30 年度  
第 1 回 羽黒地域振興懇談会  
会 議 録 (概要)

期 日 : 平成 30 年 5 月 31 日 (木)  
場 所 : 羽黒コミュニティセンター 集会室

## 平成 30 年度 第 1 回 羽黒地域振興懇談会会議録（概要）

- 日 時 平成 30 年 5 月 31 日（木）午後 2 時 00 分～午後 4 時 00 分
- 場 所 羽黒コミュニティセンター 集会室
- 出席委員 12 名  
勝木正人委員、今井忠次委員、山口秀雄委員、榎本トヨ委員、堀誠委員  
小南孝子委員、百瀬清昭委員、阿部良一委員、星野博委員、小林馨委員  
長谷川結委員、吉田智紀委員
- 欠席委員 3 名  
田村元治委員、梅津久美委員、齋藤直道委員
- 市側出席職員
- <羽黒庁舎> 支所長 國井儀昭  
総務企画課長 伊藤義明、市民福祉課長 岡部富美、産業建設課長 碓氷好弘  
地域まちづくり企画調整主査 観世安司、総務地域振興専門員 土岐美代
- <本 所> 地域振興課地域振興専門員 本間育子
- 傍聴者 1 名
- 次 第
- 《委嘱状交付》
1. 開 会
  2. あいさつ 羽黒地域振興懇談会会長 勝木正人  
羽黒庁舎支所長 國井儀昭
  3. 委員紹介 (出席者自己紹介)
  4. 副会長の選出
  5. 協 議
    - (1) 鶴岡市第 2 次総合計画・羽黒地域振興計画の策定について
    - (2) 地域まちづくり未来事業計画について
    - (3) その他
  6. そ の 他
  7. 閉 会

## 【会議の概要及び発言要旨】

### 《委嘱状交付》

- 1 開 会 (総務企画課長)
- 2 あいさつ (羽黒地域振興懇談会会長 勝木正人)  
(羽黒庁舎支所長 國井儀昭)
- 3 委員紹介 (出席者自己紹介)
- 4 副会長の選出  
互選により今井忠次氏を選出
- 5 協 議 (議長 会長)  
(1) 鶴岡市第2次総合計画・羽黒地域振興計画の策定について

— 事務局から説明 総務企画課長・産業建設課長 —

#### 会 長

ただいまの事務局の説明について、委員の皆様からご質問・ご意見等ありませんでしょうか。

(質疑なし)

#### 会 長

では、事前配布資料にありました、「これからの10年で鶴岡市のまちづくりに重視したい着眼点」について、着眼点ごとに現状、課題、施策の方向性につきまして、委員それぞれの識見から意見ををお願いします。

お示しした以外に、新たな着眼点があれば、お話いただければありがたいと思います。

#### 委員①

着眼点の前に、まちづくり塾の羽黒地域の意見交換会はあるのか。

#### 総務企画課長

まちづくり未来計画の策定に伴い、まちづくり塾羽黒メンバーとの意見交換会は行っている。

#### 委員①

自分のような年齢の者が発言するより、若者の方がいいアイデアが出てくるのではないかと考えている。

私は区長会役員ということで各集落の区長と話す機会があるのだが、自分たちの集落は雪は多いし、不便だしなど後ろ向きな発言がたまにある。自分の地域は良いところだと口を開くたびに唱えるくらいになればと思う。以前、山大の小山学長が講演会で、山形県にはなかなか若者が定着せず、県外に出て行く。地元地域住民の意識が、少しマイナス思考が強すぎるのではないかと語っていた。その辺からスタートしていくと若い人材が少しずつ生活していくのかなと思う。

また、人を呼び込める環境づくりというものを一番感じている。これまで交流人口、移住、定住人口そのようなことがいわれているが、私は関係人口、鶴岡に関係する方、羽黒に関係する方、そういった関係人口を呼び込むという考え方があっていいと思う。短期間、鶴岡や羽黒に滞在し、徐々に密度、来る頻度を高めていく。それが将来的に移住したい、定住したいという気持ちに結びつく可能性があるのではないかな。

## 委員②

高齢化も進み、にこにこバスの乗車数も増えつつある。現在、上川代線と今野線が一日おきずつの運行となっているが、両線のバスが毎日運行すれば、年寄り、学生の通学などが大変便利になるのではないかな。

## 総務企画課長

市営バスの推進協議会役員の皆様には、すごく熱い思いで一生懸命取り組んでいただいております。おっしゃるように、毎日運行となればとてもいいわけでありますので、このような意見も踏まえながら総合計画に盛り込んでいければと思う。

## 委員③

着眼点の人づくりによる人材の確保、郷土愛を育てるというところで、以前まちづくり塾羽黒グループで、郷土愛をということで活動した経緯がある。今は学校と地域の繋がりがあがり、郷土のことも勉強する機会があるようだが、自分達親世代は、地域のことを知らずに育ち、一度外に出てということもあり、親の方が地域のことを知らないのではないかなと思う。学校と地域、親と行政がネットワークを組みながら、人づくりをしていくことが必要ではないかな。

また、羽黒は出羽三山、松ヶ岡と日本遺産が二つもあり、庄内を代表する歴史ある場所なので、学区などに捉われることなく、羽黒の歴史全てを皆が誇りに思えるような取組ができるのではないかな。

## 委員④

老人クラブの加人数が減ってきている。各単位組織、集落の公園や行事に対する助成などがあれば、もう少し輪が広がっていくのではないかな。

## 委員⑤

山の方中心であるが、熊などの危険動物の目撃が結構出ている。観光地でもあるわけなので対策をとるべき。イノシシについては対策として集落の中でも柵の補助を受けているよう

だが、実際に柵をかけるにも免許が必要とのことで、その資格免許取得のための補助も検討いただきたい。そうすることにより、若い人、生産組合中心にどんどん取得してもらい、数多く柵を仕掛け駆除していくような体制ができるのではないかと。

また、庄内空港にも台湾から140人位の飛行機が飛んでくるとのことで、観光と併せてサクランボなどの農作物もアピールし、輸出にも繋げていくことができればよいと考えているので行政の力添えもお願いしたい。

## 会 長

交流人口を増やす施策の実施で、町内にもサクランボなどの農産物が沢山あるということ、そのPRも大切だし必要ではないかと。

## 委員⑥

伝統や歴史についてはいつの時代でも変わらない。しかし、「歴史や伝統を守るためには、今、君たちが変革をし、進化しながら歴史や伝統を守っていかなければならないのだよ」という話を羽黒小学校でさせていただいた。地域愛、郷土愛というものがあるけれどもなかなか難しいところがあり、出羽三山に伝わる伝統行事、祭事など様々なものがあるが、それを守っていくためには今後どのようにしていったらいいのかと、大変心配になってきているところである。

今の時代、外から人を呼んでこない、守っていけないというような状態あり、本当にこの地域の流行を発信しながら、人を呼び込んでいこうと思う。

今年からDCキャンペーンがあり10月からはプレ、来年が本番、再来年がアフターDCとのことで3年がかりで新潟と庄内エリアでやるとのこと。先ほどのアスパラ等々という話が出ているが、もっと近いところの新潟でアスパラはバンバンやっているし、枝豆は茶豆みたいなものをバンバンやっている。聖籠町ではサクランボは作っているし、独自の魅力というのは先ずもってここにはないということになる。

我々はこの地域に住んでいて、絶対的な観光地は出羽三山だと思っていたが、この間、鶴岡市観光連盟の集まりの際に、JT Bの方に資料をいただいた。県の中で圧倒的に人気なのは米沢。その次に酒田で3番目に鶴岡とのこと。いわゆる食なのだ。肉食いたい。海鮮食いたい。鶴岡市で一生懸命食文化交流等々やっているわけだが、山菜だとか、草や葉っぱではもう人は来ないということを感じている。精進料理云々も分かるが、子どもたちが一緒に来て、この地域は魅力があると感じていただけるような、子どもたちが楽しい、いわゆる、もう柿は駄目だが桃はいいとか、そのような流れがあるそうなので、是非とも独自のものを考えていきたいところである。

是非とも、松ヶ岡も日本遺産になったということで、また今回山寺も日本遺産となったわけであるが、あまりにも日本遺産が多すぎて、山形の観光人口が分散している。より一層この地域の努力が必要である。

## 委員⑦

最近、様々な事件や事故がとりざたされているので、将来の着眼点という中で安全安心という視点でのまちづくり、若い人、高齢者も含め健康なまちという明るいイメージの言葉も

どこかにあった方がいいのではないか。

#### 委員⑧

婦人会としては、来て楽しい、参加して良かったという形で事業を進めているが、それだけではなく、今後、子どもたちに繋いでいかなければならない。山伏修行が人気なのだが、それを大人だけではなく、中学生はできないものかと思う。小学生のうちには自分の地区のことを学ぶ。中学生で町全体のことを学ぶ。高校生になったら山形県とか日本のことを学ばばいいわけなので、中学生のときに山伏体験など様々なことをやり、羽黒山を好きになってくれればいい。

関係人口という話があったが、羽黒は鶴岡に通勤するにも、酒田に通勤するにも環境がいい。団地を作り鶴岡に行く人に住んでもらうというのが一番。田は宅地にできないなど制度はあるが、どこかにはあると思う。そのようなところを住宅団地のようにしたらどうか。

自分の住んでいる所は山の中である。年を取り免許返納などするものなら、買い物難民になってしまう。昔のように移動販売車が来たり、先程話に出た、にこにこバスが毎日運行するなどの手立てを考えながらやっていければいいのではないか。

精進料理もいいのだが、若い人は肉や魚などと言う。庄内は魚も肉も何でも美味しい。なので、今更精進料理ということはないと思う。ある程度人とは波があるものなので、そのようなところをもっと感じなければ駄目だと思う。

## (2) 地域まちづくり未来事業計画について

— 事務局から説明 地域まちづくり企画調整主査 —

### 会 長

ただ今の説明に対する質問や、羽黒地域のまちづくり未来事業計画について委員の皆様方がお考えになっていることを一人2分～3分でご発言願います。

#### 委員⑨

鶴岡市でもPTAの関係で、平成30年度に中高一貫校の設立を目指しているとの説明会があった。今の小学一年生から中高一貫校へ入学できるというような形なのだが、鶴岡市でも人口減少によって中高一貫ということで高校を再編していくとのことである。その中で羽黒地域のまちづくりということで、子どもたちへの羽黒地域の魅力ある部分を学習させていくとの声が上がっているわけだが、実際に鶴岡の学校に行くという子どもも出てくる可能性がある中で、今後の未来を支えてくれる子どもたちに対し、今までとまたプラスした何か事業というか、体験学習もそうだろうし、地域に日本遺産が二つある、こんな場所は他所にはないという伝統文化をどうしたら子どもたちに教えていくことができるか、そのような事業を何かできないものかと思っている。

#### 委員⑤

農業関係になるが、管内JA庄内たがわの中でも畜産農家が多いのは羽黒である。その中

で堆肥センターの臭いの問題。畜産を振興する中では、堆肥の問題はどこの集落でも発生しているはず。是非、農業振興とまちづくりという部分については繋がるどうか分からないが、畜産部門は、どうしても肉というのは大切な食材であるので、だんだん減っていく中で地元産のものは推していかなければならないと私は考えている。その辺の手当的なものを、未来においても作れる環境というものも必要ではないかと考えている。

#### 委員⑩

羽黒地域には様々なものが分散している。現地に行けば本物があるわけだが、物品の販売や、子どもたちが学習したものを人に対して発信できる場所など、羽黒の魅力あるものを一箇所に集めた情報発信の拠点があればいい。

先程から体験や学習との話が出ているが、我々はみんな分かっているつもりでいるわけだが、外から来た人の感想や話、魅力を聞いて再確認する必要があるのではなからうか。

実を言うと羽黒庁舎ができるとき、それを期待していたのだが。あのように立派な建物があ、地域的にも中心なので、周辺にそのようなものができれば、大変様々なものが活きやすいし取り組みやすいのではないか。

#### 委員⑧

保育中に子どもの具合が悪くなった場合に、迎えに行ってくれて見てくれるような、病気の子を見てくれる保育園があるといい。

また、以前は祖父母が保育園の送迎をしていたものだが、今は親がしている。大東保育園に入園させると、わざわざ手向に送ってから市内に出勤するということになる。新しく建設する必要はないが、どこか少し直すなどし、交通の便の良い場所にできないものかと思う。

#### 委員⑪

自分は花祭りも松例祭も一度も見たことがない。本来であれば地元の人が、その祭りを体験してこそ意義があるのではないかと考えている。松例祭への綱を作っていた集落が高齢化により集落だけでは作れないということで、私たちの集落にも声が掛かり、一緒に綱を作るという事になった。やはり、先輩から後輩に繋げていく、大切なことを守り続けていくということが大事なのではないかなと思う。

希望に満ちた明るい未来への展望ということなのだが、私達はある一定の年齢になり、今後 10 ヶ年の構想を練るということで、すごく不安があった。しかし、希望に満ちた明るい未来ということは繋がっていくことで、若い人たちが出てくることで繋がっていくということでもある。私達年代が、今後介護保険や老人保険を脅かさないためにも、健康で生きなければならないということで、先程もあつたように健康である、いるということを実現していかなければならないのではないか。

#### 委員④

台湾からのチャーター便が庄内空港に発着するという話を聞いた。羽黒地域で国際的なものを、例えば日本遺産になっている羽黒山、松ヶ岡を宿泊付のひとつのコースとして計画してみればいいのか。

## 会 長

中高一貫とのことで進んでいるが、今後中学校の競争が始まり切磋琢磨し良くなると思う。

鶴岡市は子どもにあまりお金をかけていない。例えば羽黒地域でいえば、新島の派遣が以前は毎年やっていたわけだが、全部 2 年に 1 回になった。毎年行くような施策をするべきではないか。未来事業計画であれば子どもにお金かけるのは当然だと思うので、そのような点も全市一斉にやってみたらどうだろうか。

## 委員②

今野川の上流は 7~8 年前の雨で川のブロックがだいぶ削られ、かなりやられている。浅いところはものすごく浅く、ちょっと鉄砲水などがくると、すぐ道路上まで、田んぼなどみんな沈むようになっている。そのような場所の整備が必要である。

## 委員⑦

先進地に行くなどし、地域を良くするためにはどのようなことに取り組みばいいのかなど勉強をしてくるための派遣事業があればいいのではないか。行ってきた人はそこで勉強してきたことを、ただ行ってきて楽しかった、嬉しかったでは留まらない。地域のために何かに活かそうとか、自分が実際行ってきたわけなので、それを還元しなければならないという気持ちにもなるようで、地域の活性化にも繋がるのではないか。

また、今から 9 月までまとめるとなると、なかなか容易ではないという気もする。慌てて、各地域から意見を聞いて、それをまとめて、ここで検討するというような段取りになっているが、例えばじっくり考えて、同じ 3 年計画を立てなくても、1 年遅ければその分お金を使わなくなるということでないとするれば、少しじっくり腰を落ち着け、31 年はまず研究する時期にして、その後、こういったことをやりたいという検討する時期にしてもいいのではないか。

## 委員①

町の育英会の基金が弱くなっている。そこに人材育成という観点から例えば、将来の定住、Uターン、これを前提とした給付とか出世払い。給付はUターンして定住して羽黒に根を張ってくれたら免除するなど、そのような条件をつけながら、町の育英会の基盤を強化するという手法にしてみたらどうか。

また、秋田県は全国で学力がトップです。塾もなく、家庭教師もいない。そのようなところで全国 1 位の学力を達成している。地域の文化や、地域は農業だそうです。そういうことをベースとした体験型教育をやっているとのことで、そのような場所に研修視察などをし、そこで学んだことを活かしていければいいのではないか。

羽黒の農産物は色々あるわけだが、他に誇れるナンバー 1、オンリー 1 のものが、ちょっと弱いという感じがする。例えば、イチゴテーマパーク、サツマイモやジャガイモ、アスパラガスなど、農業に特化したテーマパークや、産直を兼ねたそのようなものを発信の拠点として作ってみてはどうか。

今、蚕が作り出すタンパク質が非常に機能性が注目されているという。これは医薬品、化



化粧品、健康機能という面で非常にこれから注目されていくとのこと。慶応の先端研も含めながら、できるものを考えてみたらどうか。

農業人材が非常に不足している。よって、若い人材をしっかりと定着支援できるようなシステムづくり。入ってきた若い人を逃がさないように、リタイアしないようにしっかりと定着してもらうような手法を独自のものを作ってみたらどうか。

#### 委員⑥

農家の方々が一生懸命畑を維持しながら、家で食べる分だけではなく、皆さんに買って食べてもらいたいという意識で一生懸命作っているものを提供することのできる産直は必要ではないか。

手向に移住したいとか、定住したいとの声は聞くが、冬場の状態も見せると皆諦める。やはり、移住してきた時に、どのように生業を成り立たせていくのか、やはりその辺も農業に通じる場所があると思うので、是非とも張り合いのある産直を作っていただきたい。

#### 委員③

インバウンドの話があったが、特に羽黒山は欧米系の方がすごく近年増えているとの話を聞いた。松ヶ岡も侍ということで、すごくインバウンドの観光地としては適していると思う。なので、その辺の事業をきちんと進めていくべきではないか。

また、観光客が松ヶ岡に行く手段がないという問題を解決するべきである。

あるべき資源をきちんと活かしていくような事業をして欲しい。神社は聖域な領域ではあるが、もう少し開かれた、精進料理がもう少しリーズナブルな、ランチ精進料理ではないが、気軽に観光客が行けるような形にしてみてもどうか。あるものはきちんと活かすことも必要ではないか。

#### 会 長

庄内地方は森林組合の独占のような形で、森林組合を通さないと、間伐材を持ち込めないというシステムである。そのようなシステムが変われば、山に入り手入れしても何にもならないという気持ちもなくなり、山もきれいになる。そうすると、イノシシも出てこなくなるのではないか。

委員の皆様からは、いろいろご発言いただきありがとうございました。羽黒庁舎の方には、羽黒地域固有の資源や特性を活かした「まちづくり未来事業計画」策定にむけて、検討していただければと思います。

### (3) その他

#### 委員①

様々な会議、組織からあて職ということで相当声が掛かる。社会構造や経済構造、人口の構成も変わってきている時代であるので、組織や会議などを一度、行事もですがゼロベースから見直しをし、残すものは残す、許可するものは許可する、スクラップしていいものはなくすることをしてもいいのではないか。

6 その他  
なし

7 閉 会 (総務企画課長)